

<注意>問題用紙は両面印刷のもの1枚、解答用紙は1枚である。解答はすべて解答用紙に記入すること。解答に用いるアルファベットの文字は必ずブロック体の大文字で書くこと。あいまいなものは採点の対象にしないことがある。

I. (該当者のみ) 全学共通科目としてこの科目を履修している場合、これをA群それともB群のどちらで登録しましたか。解答用紙に正しく○印を下さい。

II. 次の各群のa～cの記述のうち、正しいものをすべて集めた組み合わせを、A～Gの中から選んで答えなさい。

1. a. ドゥゾワイユは指導覚醒夢という精神療法を工夫した。

b. パシュールは哲学者でユングの影響のもとに四大元素をテーマに無意識を考察した。

c. アブラハムはフロイトの弟子でリビド(リビドー)の発達段階を詳しく定式化した。

A (a) B (b) C (c) D (a, b) E (b, c) F (c, a) G (a, b, c)

2. a. 喉にものが詰まったような感じがすると訴える球症候群は心身症に独特のもので往時のヒステリーには見られなかった。

b. 「いざなみ症候群」は、人工妊娠中絶を心因としている。

c. 「いざなみ症候群」は、人工妊娠中絶直後ではなく、その後別の契機が加わって事後的に発症した。

A (a) B (b) C (c) D (a, b) E (b, c) F (c, a) G (a, b, c)

3. a. メラニー・クラインは明治期の日本を訪れ、浮世絵などに残されていた「判じ絵」をフロイトの夢理論の立場から論じた。

b. プロップは大正期の日本を訪れ、日本の民話とギリシャ神話との構造的な比較研究を行った。

c. ロラン・バルトは昭和期の日本を訪れ、日本文化を記号論の立場から論じた。

A (a) B (b) C (c) D (a, b) E (b, c) F (c, a) G (a, b, c)

4. a. 「べてるの家」は医療や精神保健福祉法とは無関係に、精神障害の心的回復をめざす自主施設である。

b. 「対人恐怖」と言われる症候群は、社会的礼儀に敏感な日本独特の疾病形態で、西洋の疾患分類では適切な分類種がない。

c. 「三環系抗鬱剤」という系統の薬剤には、尿閉の副作用がある。

A (a) B (b) C (c) D (a, b) E (b, c) F (c, a) G (a, b, c)

5. a. ラカンによる「鏡像段階」の理論は、人間固有のものと言うより、動物の鏡への反応をも考慮して組み立てられている。

b. ユングの方法は夢を積極的に扱うが、フロイトは言語の構造に重きを置いたため、夢の役割は重視しなかった。

c. 固着点は、リビドの滞留であるが、社会からの欲望がそれぞれの主体の中に謎として書き込まれている身体部位である。

A (a) B (b) C (c) D (a, b) E (b, c) F (c, a) G (a, b, c)

III. 次の記述中の空欄を埋めるために最も適切な用語を選び、その組み合わせとして正しいものを、A～Eの中から選んで答えなさい。

1. 次の「」内の精神分析的記述は、(①)が(②)について、述べたものである。「無意識は、対象喪失を(③)として、また、取り込みを口唇的過程として把握する。」

①a アブラハム b クライン c フロイト d ラカン

②a 鏡像段階 b 心身症 c 夢の仕事 d 喪の過程

③a 去勢的操作 b 男根的過程 c 肛門的過程 d 外傷体験

A (①a②d③c) B (①b②b③d) C (①c②a③a) D (①d②a③b) E (①a②c③b)

2. メラニー・クラインは、早期幼児期の関係性の特徴として、他者と自己の区別がなくなる「(①)」という機制があり、これは生後(②)あたりの時期まで続き、その後、(③)の意識と共に主体性が芽生えたとした。

①a 投射同一化 b 自他未分化 c 自己中心化 d 神秘的融即

②a 2～3歳 b 3～5歳 c 3,4ヶ月 d 18ヶ月

③a 自我 b 罪 c 個別化 d 近接化

A (①a②d③c) B (①b②b③d) C (①c②a③a) D (①d②a③b) E (①a②c③b)